

公演決定

ファンタジー オーケストラミュージカル 「スサノオと美琴～古事記～」

日本最高のオペラ劇場 新国立劇場オペラパレスで繰り上げられる

オペラ・バレエ・ミュージカル・演劇各界の強者が集う 1 日限りの夢の舞台

日程：2018 年 8 月 29 日(水) 16:30 開演 会場：新国立劇場 オペラパレス

チケット：S 席 12000 円 A 席 10000 円 B 席 8000 円

チケット発売日：2018 年 7 月 7 日(土)チケットぴあ 他

台本・演出：杉本凌士
芸術監督・指揮：坂本和彦

作 曲：日高哲英
プロデューサー：岡田秀春

総 監 督：井戸輝雄
キャスティングプロデューサー：成田忠幸

当協会は、日本の文化を創成し日本のみならず世界に発信して行く為に立ち上げ、旗揚げ公演を 2017 年 7 月 7 日オペラ「ひかりのゆりかご」をめぐろパーシモンホールで、オペラ界から中鉢聡氏他、ミュージカル界から石丸推菜氏、芸能界から「どぶろっく」のお二人を迎え、女性だけで奏でるレディースオーケストラ G-Dream21 の演奏で新感覚オペラを上演しました。2017 年 9 月 2 日には新国立劇場オペラパレスにて故 市川森一原作の三部作ドラマティック古事記の二部を西島数博氏、真矢ミキ氏等を招き行いました。

今回は総勢 60 名に及ぶ女性だけの演奏者集団レディースオーケストラ G-Dream21 の演奏で、新鋭作曲家 日高哲英が作り出す音楽と、心に響く舞台を数多く創作する杉本凌士の台本・演出により、現代に生きる美琴(11 才男の子)が日本創生期・神の時代にタイムスリップしてスサノオと三種の神器探しの旅に出るというファンタジー作品です。スサノオ役には舞台「弱虫ペダル」や TV・舞台「男水！」等に出演し、劇団☆新感線「髑髏城の七人」無界屋蘭兵衛役を務め今最も注目の役者 廣瀬智紀、美琴役には昨年話題となったブロードウェイミュージカル「ビリーエリオット」にて主演したダンスの天才 木村咲哉、アマテラスには元宝塚のトップスター月影 瞳、イザナギノミコトにはミュージカル界の重鎮 岡幸二郎、イザナミノミコトにも元宝塚のトップスター彩輝なおを起用し、オペラ界より老舗 藤原歌劇団の面々、踊りは小林紀子バレエ・シアターとコラボレーションし、音楽と踊りと演劇が一体となり感動を伝えます。

【台本・演出】杉本 凌士 (すぎもと りょうじ)



熊本県人吉市出身。自身が主宰を務める劇団メンソウルでは、脚本・演出・出演。外部でも多くの作品を手掛ける。2010 年、2011 年には、ミュージカル作品「絆」(東京国立中劇場)の脚本。2013 年「ウィリアム・シェイクスピア」「無名塾」公演にて脚色・演出。2015 年「妖精の丘」脚色・演出(第一生命ホール)。2016 年「クロードと一緒に」脚色・演出(新国立劇場小劇場)他、多数。

【作 曲】日高 哲英



(ひだか てつひで) 作曲家/編曲家。東京音楽大学作曲科、同大学院修士課程修了。作曲を西村朗、指揮を三石精一、尺八を横山勝也に師事。多くの演劇やラジオドラマ、映画作品の音楽を手がける。また、コンサート作品の作曲、編曲、指揮など、さまざまな音楽活動を展開している。



【芸術監督・指揮】坂本 和彦 (さかもと かずひこ)

日本オペラ振興会会員指揮者。公益法人としま未来文化財団音楽監督。日本指揮者協会監事及び事務局長。東京音楽大学(指揮科)、同付属高校講師。チューリッヒに留学、音楽院、同地歌劇場にて 4 年半に渡り研鑽。1994 年には、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団、ベルリンドイツ交響楽団にて研鑽。2012 年にはローザンヌにて、スイスロマン管弦楽団と共演。皇居にて行われた天皇陛下即位 20 年、御成婚 50 年をお祝いするにあたり作曲された「太陽の国」(東京都交響楽団、EXILE 歌唱)の御前演奏の指揮者を務めた。東京都より平成 27 年度の文化功労賞を受賞。

【出演者】



スサノオ 役：廣瀬 智紀（ひろせ ともき）

1987年2月14日 埼玉県生まれ。スターダストプロモーション所属。主な出演作品はTV・ドラマ連動企画「男水!」、舞台「弱虫ペダル」、「ダイヤのA」、ミュージカル「スカーレット・ピンパーネル」など。2017年11月から2018年2月には、劇団☆新感線「髑髏城の七人 Season 月」では無界屋蘭兵衛を演じた。映像作品でも活躍、現在、映画「ラブ×ドック」が5月11日（金）、映画「刀剣乱舞」が2019年、共に公開予定。



伊那美琴 役：木村 咲哉（きむら さくや）

2006年東京都生まれ。小学6年生。オフィスクロキ所属。2017年7月～11月（赤坂ACT、梅田芸術劇場公演）日本初公演ミュージカル「ビリー・エリオット～リトル・ダンサー」日本初代最年少ビリー役で衝撃主役デビューを果たす。TV、映画等で活躍中の兄の影響で、3歳からヒップホップ、7歳からアクロバット等を始める。恵まれた運動神経を武器に現事務所へスカウトされ、ビリーオーディションに応募、1346名の中から見事主役デビューを射止める。小学3年3月からオーディションの為バレエ、タップ、歌唱とレッスンを開始。持ち味の向上心からわずか1年半で習得。昨年2017年度の各演劇賞を多数受賞。その後2017年12月「サロメ」少年役、2018年5月フラメンコ「マクベス～眠りを殺した男～」少年（未来の王）役（共に演出：上田遥）等重要な役所で出演。



アマテラス 役：月影 瞳（つきかげひとみ）

長野県上田市出身。キョードーファクトリー所属。上田市観光大使を務めている。元宝塚歌劇団・娘役トップスター。1990年「ベルサイユのばら」で初舞台。入団2年目で新人公演初ヒロインを演じる。1997年「誠の群像」で星組トップ娘役となり、その後雪組に組替えし引き続きトップとして活躍。2002年「愛燃える/Rose Garden」で退団。その後は舞台、コンサート、映画やテレビなどで活動中。ピラティスインストラクター資格保有者でもあり、3年間の台湾在住経験から中国語（北京語）も話せる。



イザナギノミコト 役：岡 幸二郎（おか こうじろう）

福岡県出身。クイーンズファクトリー所属。1991年より劇団四季にて「オペラ座の怪人」「クレイジー・フォー・ユー」等に出演。主な出演作は「ピーターパン」「キャンディード」「風と共に去りぬ」「ミス・サイゴン」「プロデューサーズ」「グランドホテル」「タイタニック」などがあり、抜群の歌唱力と華やかな容姿で存在感を示している。2006年にはストレートプレイ「BURNTTHIS」にも出演した。また2006年には2枚目のアルバム「The Prayer」をリリースし、ソロコンサートを行った。近年は、テレビやラジオにも活躍の場を広げている。



イザナミノミコト 役：彩輝 なお（あやき なお）

神奈川県出身。太田プロダクション所属。1990元宝塚歌劇団入団。「ベルサイユのばら」で初舞台。2年目にして新人公演「ベルサイユのばら」のアンドレ役に大抜擢され以降、美貌の男役として高い人気を誇る。その後、星組・専科での活躍を経て、2004年月組トップスターに就任。2005年「エリザベート」トート役を最後に退団。退団後間もなく、ブロードウェイミュージカル「プロデューサーズ」に出演。以降も舞台を中心に順調にキャリアを重ね、幅広いジャンルで活躍を続けている。主な出演作としては「アニー」「AKURO(悪路)」「暗くなるまで待って」「女ねずみ小僧」「ガブリエル・シャネル」「ピアフ」「ピトレスク」「マホロバ」「こちら亀有派出所」などがある。



小林紀子バレエ・シアター

クラシカル・バレエ・カンパニーとして1973年に小林 功によって設立。日本を代表するプリマバレリーナ小林紀子をはじめ、これまでに国内外で活躍する数多くの優秀なバレエ・ダンサーを輩出。2008年のアシュトン振付「バレエの情景」、ド・ヴェアロア振付「ザ・レイクス・プログレス」、小林紀子 版「パキータ」の公演では平成20年度文化庁芸術祭大賞を受賞。近年ではマクミラン版「眠れる森の美女」、「マノン」、そして「アナスタシア」の日本初演に加え、小林紀子による新版「くるみ割り人形」を初演するなど、その成果に対し舞踊批評家協会賞（2012）を受賞している。現在カンパニーの芸術監督を務める小林紀子は、1983年より芸術監督に就任。



レディースオーケストラ G-Dream21

音楽大学を卒業し、実力を有する女性ソリストを集結したオーケストラ G・Dream21、強さ・弱さ・遅しさ・優しさ・・・すべてと共存する女性の集まり。クラシックだけに限らず、ポピュラーから日本の民謡まで、ジャンルにとられない独自の演奏、自然や心の安らぎをイメージした緑色を基調としたコスチュームに包まれた彼女達が女性ならではの柔らかさと強さで魅せる音楽を響かせる。

(その他の出演者)

アシナヅチ：松山 いくお、テナヅチ：座間 由恵、オモイカネノカミ：大塩 ゴウ、
アメノコヤメノミコト：鈴木 健之、アメノウズメノミコト：醍醐 園佳、アメノタチカラオノミコト：井出 司、
タマノオヤノミコト：木村 優一、オオゲツヒメ：竹下 裕美、機織り女：吉田 美咲子
※ スサノオの恋人クシナダ役はオーディション中

【あらすじ】

伊那美琴は島根に住む 11 歳の男の子。彼は学校帰りのある日、黄泉比良坂（神話上、現世と黄泉の国の境目と言われる坂）を訪れ、光り輝く不思議な石（勾玉）を拾う。そこへ同じ学校のイジメッ子達が現れ、美琴は思わず巨石に登ってしまう。その瞬間、イジメッ子達は巨石の向こう側に吸い込まれ、美琴は日本の創成期、神の世界にタイムスリップしてしまう。

途方に暮れている美琴だが、そこへ現れたアマテラスに「三種の神器がないと黄泉の国には行くことが出来ない」と告げられ、友達を救う為に三種の神器を探すことを決意する。そこにスサノオが現れる。高圧的なスサノオは美琴を半ば強引に母親探しの旅に付き合わせ、二人は目的の違う旅に出ることになる。しかし最初は暴れん坊だったスサノオだが、美琴と出会って徐々に変わっていく。旅の途中、スサノオは世にも美しい女性クシナダに出会い一目惚れする。しかし彼女はヤマタノオロチの生贄になるというのではないか。二人はヤマタノオロチを退治に向かう。そして…

幼くとも勇気と信念を持ち、正しい行いを繰り返す人間である美琴に、神であるスサノオが心を動かされる『人間の在り方を問う』ジャパニーズファンタジー。

【主な登場人物】

| | |
|--------------|--|
| スサノオ | 日本神話に登場する神。 ここでは美少年のイメージ。母に捨てられたと思ひこみ、我儘で聞かん坊だが何故か人間の美琴とウマが合う。 随所に神としての威厳を見せる。 |
| 伊那美琴 | 引っ込み思案。幼き頃に母を亡くし、父と二人暮らし。 実は踊りが上手いが、クラスでは仲間はずれにされている。 スサノオの幼き頃と似ていてアマテラスは出会った時に一瞬スサノオと勘違いする。 |
| アマテラス | スサノオの姉。綺麗で優しいがスサノオに手を焼いている。 |
| クシナダ姫 | 後のスサノオの妻。スサノオが一目惚れする。ヤマタノオロチに襲われるところをスサノオに助けられる。 |
| イザナギノミコト | スサノオとアマテラスの父。 |
| イザナミノミコト | スサノオとアマテラスの母。美琴の母と二役。 |
| アシナヅチ | クシナダ姫の父。 |
| テナヅチ | クシナダ姫の母。 |
| オモイカネノカミ | アマテラスを誘い出す美琴のアイデアに賛同し美琴を後押しする。 |
| アメノコヤメノミコト | 天岩戸の前で祝詞を唱える。 |
| アメノウズメノミコト | 神々の中で天岩戸の前で最初に踊った芸能の神。 |
| アメノタチカラオノミコト | 腕力・筋力を象徴する神。天岩戸をこじあげアマテラスを出した。 |
| タマノオヤノミコト | 天岩戸にしめ縄をかけた神様。 |
| オオゲツヒメ | 穀物・食物・蚕の女神。 |
| 機織り女 | スサノオのイタズラに驚き死んでしまう。 |
| タケシ | イジメッ子のリーダー格。 |
| ヒロシ | イジメッ子の中で「ドラえもん」のスネ夫的な存在。 |
| マサシ | やはりタケシの太鼓持ち。 |
| メグミ | 美琴を守ろうとする唯一の女の子。 |